

情報連絡一覧票 (神奈川県中央会・令和3年5月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業  食 料 品	パ ン	昨年は学校休校により、給食なしであったので、給食は大幅上昇。イベント・卸とも対前年は上昇している。店舗販売については大型店が販売開始しているため、対前年、横ばい又はややダウンの状況。
	酒	令和3年4月の清酒課税移出数量の特定名称酒は対前年比173.51%と上回った。内訳は、吟醸酒185.71%、純米吟醸酒200.23%、純米酒156.51%、本醸造酒215.36%となった。特定名称酒以外の普通酒は対前年比130.89%と上回り、合計で対前年比166.96%と前年を上回る結果となった。令和2年4月の移出数量は166.96%と好調のように見えるが、昨年の4月期は元年4月期の47.19%であり、昨年より増加しているが、元年4月期に比べると77.63%であり、まだまだの状況。
	ひ も の	コロナ禍での観光客減少で業務用売上が元に戻らず厳しい状況が続く中、EC(電子商取引)は落ち着きつつある。しかし、これは気休め程度でコロナ感染前の状況(業務用売上が元に戻ることを)を待ち望んでいる。このほか、昨年秋の連絡票にも記したが、業界浮沈に係る問題として干物原料であるアジ、サンマ、金目鯛等が軒並み不漁で良質な原料確保が難しい状況が続いており、目先だけでなく、コロナ終息後の商品揃え・品質確保が難しいことが予測され、今後の心配である。
	製 麵	相変わらずの出口戦略の無さでインパクトのある数字が出ると、それに引っ張られ右往左往するのをずっと繰り返している感じがする。感情論ではなく、何処の数字がここまで悪化したら、まん延防止で、これ以上悪化したら緊急事態宣言だということをしっかり示してほしい。弊社の納品先の店も連休明けの酒類販売自粛から通常営業に戻したところがあって、その店は以前の出荷数に戻ってきているので、何が良いかわからない。
木材・木製品	家 具	4月の住宅着工数は、74,521戸(前年同月比+7.1%)と2か月連続でプラスに転じた。底打ち感が出てきた。一方、木材の価格上昇と品不足が懸念されている。米国の住宅需要が活発で、米国発の価格上昇「ウッドショック」により、日本の業者が買い負け、輸入減少、価格上昇が問題となってくる。家具業界でも、必要な資材不足、原価上昇が懸念される。巣ごもり需要によって回復を果たしている企業は一部あり、業界全体としては、まだまだ厳しい環境が続くとみている。
印刷	製 本	例年、仕事の量が落ち着き始める時期であるが、今年は輪をかけて少ない。オリンピック関連の仕事も全くなく、その他夏のイベントも中止・縮小が相次いでおり、更なる冷え込みが予想される。
	印 刷	日本製紙連合会が発表した2021年3月の紙・板紙需給速報によると、紙・板紙の国内出荷は前年同月比1.0%減で20か月連続の減少となった。印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比3.6%減で20か月連続の減少。輸出は1.9%減で3か月連続の減少となった。その他の品種では、新聞用紙が2.0%減で41か月連続の減少となり、包装用紙が0.4%減で24か月連続の減少、衛生用紙が20.3%減で2か月連続の減少。一方、段ボール原紙は5.9%増で4か月連続の増加、白板紙が1.4%増で20か月ぶりの増加に転じている。年度末のこともあり県内の中小印刷会社において従来であれば繁忙月となるどころだが、好調という声は聞こえてこない。
化学・ゴム	石 油 製 品	組合員各社の売上は引き続き厳しい状況であり、全般的に減少している。ある組合員は、「昨年5月と比較して、売上は上回ったが、今後の経済活動や職場でのワクチン接種の動向が読めず不安である。」と話していた。
窯業・土石製品	生 コ ン	特需となっていたプラント建設工事がピークアウトしたため、出荷量が昨年と比べ、大きく低下した。
	砕 石	新型コロナウイルスの影響で中止・延期になっていた大型再開発が動いており、売上・収益ともに好転。
工業	工 業 塗 装	昨年よりも売上アップ。昨年はコロナウイルス感染症拡大になり、自動車メーカーの生産工場が一時休業又は減産となり売上が激減した。本年5月は医療機の増産が続き、売上が増となった。大型一括受注案件があり、当社の売上は上昇した。ただ、従来の塗装案件はコロナ禍の影響を受け、低迷している。工業塗装分野でも、半導体関連装置に係っている会社は好調だと思うが、全般的には厳しい状況が続いていると思う。

鉄鋼・金属	工業団地	自動車関連は一部コロナ前の水準に戻ってきているが、トラック部門は環境がまだ不透明なこともあり、買い替えを見合わせている業者が多く、回復まで時間を要する見込み。製造業においては、スクラップ価格の高騰により、原材料の品不足が生じている。また、原材料の高騰を価格転嫁できないため、収益面が厳しい状況が続いている。
	工業団地	売上高前年比マイナスの状況が続く。組合員各社従業員の雇用維持に努力。調整金制度等活用するも、従業員のモチベーション維持向上や心のケアにも配慮の必要性を感じている。
	金属製品	非常事態宣言や蔓延防止処置等が6月20日まで延長による中小企業への影響及び解除後の見通しが見えない。ワクチン接種が遅れており中小企業の従業員は毎日感染リスクにさらされている状態。ただ、仕事量は増加傾向である。
その他の製造業	工業中心の複合業種	大型連休明けより、多くの企業の受注が減少。従業員は週3～4日休業、または半数ずつ交代で休業している企業が増えた。日によっては機械音が聞こえず、町全体が静かな日もあった。各種助成金を申請し、何とか操業してはいるが、厳しさも深刻化している状況。コロナウイルスの早い収束を願う。
	工業中心の複合業種	世界的に設備投資の抑制傾向が続いてきたものの、工作機械受注額が増加傾向にある。国内、海外向け共に前年比増。半導体関連の動きが活発化し上向き見込みが持てる。コロナ禍の生活環境の変化により、受注変化への対応が求められる。外出自粛等による生活環境の変化から特定業種の落ち込みが懸念される。
	工業中心の複合業種	新型コロナウイルス感染症も1年以上となり、低迷状態が普通化しだしている。
非製造業	菓子	売上は変わらず、3割の減少が続いているようである。まん延防止等重点措置の延長により、企業や大学の売店等の売上が戻らず、販売先による業績格差も生まれており、先行きが見えない状況が続いている。
	金属原料	資源価格は高騰になったが、扱い数量が減少傾向（鉄・非鉄）
	卸	依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年同月比で売上が減少し、減収。一方、巣ごもり需要による特需で増収の企業もあり、販売ターゲットによる業績格差が顕著に表れている。大幅減収の企業においては、緊急特別融資で資金繰りを保っている状況。
	料理材料卸	昨年と比較し、売上は若干の増加が見られた。一昨年との比較では、半減状態が続いている。組合員も社員交代制と週4日の稼働等の対策を取り続けており、6月20日までの延長により、引き続き、このような状態を取らざるを得ない。飲食店は酒類提供禁止の中で、休業状態にある。行政も少し知恵を絞り、対策取れないものだろうか。期待しても我々納入業者の声は届かない。
	リサイクル	海外への輸出古紙については上昇を続けていた段ボールの輸出価格が4月に入り、反転し、この2ヶ月ほどで30～40\$下落している。中国における製品需要低迷と欧米からのインド向け輸出が同国のコロナウイルス感染者拡大により滞っているのが要因である。欧米からインドへは月間50万トン以上輸出されている。米国では、ワクチン接種が進み、内需が活発であることから輸出余力が低下し、東南アジアへの輸出は伸びない状況である。雑誌は成約できる先及び数量が限られている。唯一インドネシア向けは潤沢に契約することは可能だが、事前検査が面倒であることから、各商社は輸出には消極的である。物流問題も世界的なコンテナ不足、海上運賃の高止まりは解消されておらず、このまま秋以降の需要期に突入した場合、回復を待たずコンテナ不足の状況が長期化することが懸念される。
	リサイクル	古紙市況は古紙回収量の減少が続いて問屋在庫も低下しているが、東南アジア向けのダンボール古紙輸出が好調なため、中国向け輸出が減少している中、海外向けは堅調となってきている。鉄スクラップ市況は価格の上昇から様子見ムードとなっており、輸出市況にも軟調の影響が出始めている。故繊維市況は国内外ともに売り先の確保が難しく、供給余剰が問題となっている。
小売業	菓子	コロナ禍であるが、現状維持。
	新聞	回復傾向にあった新聞折込が4月下旬に始まったまん延防止等措置や東京都の緊急事態宣言のため、5月は前月比で大幅な減少となった。

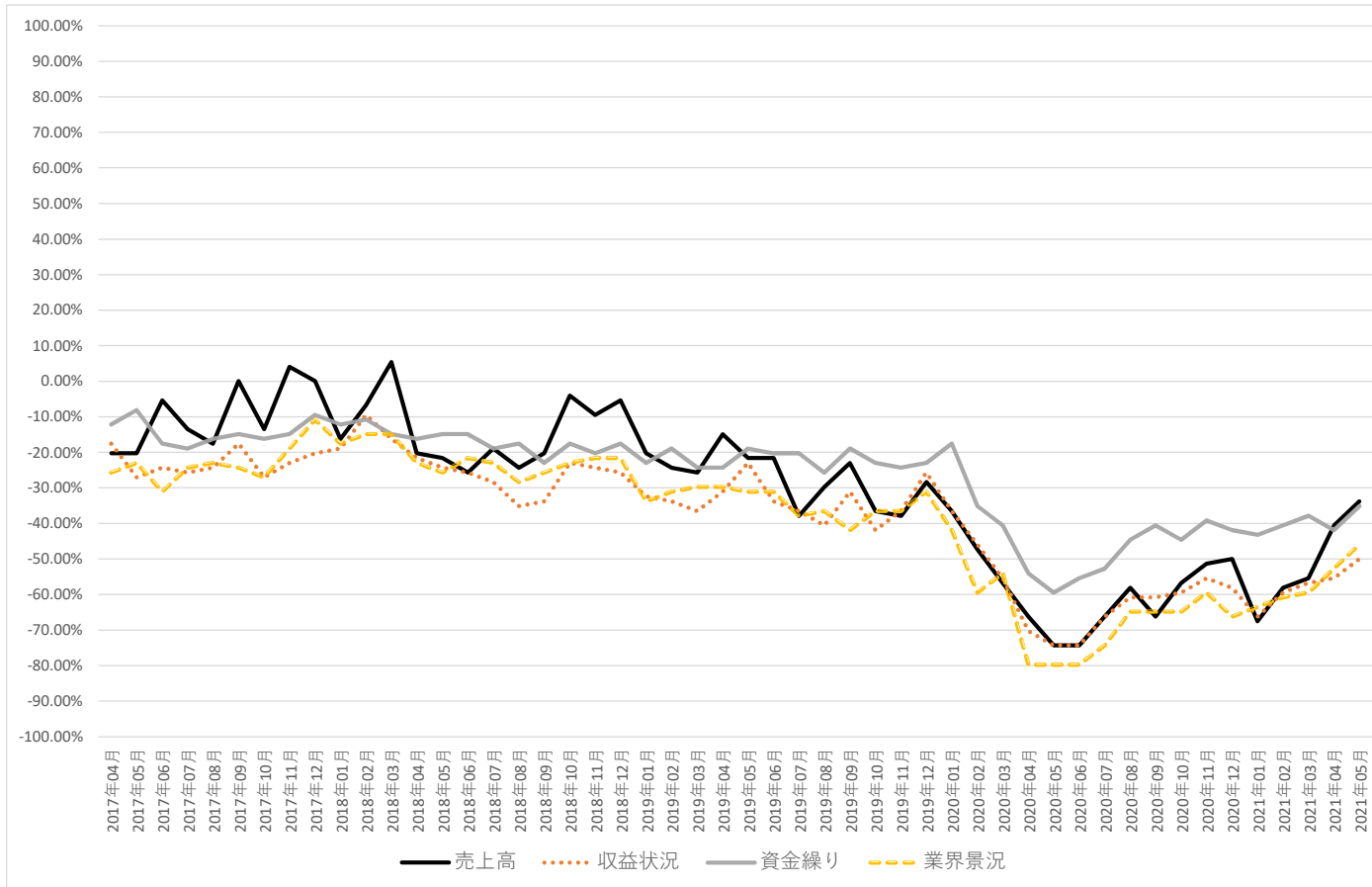
	青	果	5月に入り、天候にも比較的恵まれ、入荷も大型野菜中心に順調で、安定した展開であったが、連休もあり、自然コロナの影響で業務用を中心に需要が伸びず、販売低迷が続き、相場は例年に比べ、総体的には安値であった。取引高 94% 取扱量 103%であった。ますます厳しい状況が続いている。						
	化	粧	品	緊急事態宣言が再度発出される中でも、いよいよワクチンの接種が始まった。我々の業界は対面販売が主流なので、これからは徐々にお客様の来店も増えてくるのではと期待したい。メーカーも小売店も経費削減に努めて何とせよあと少し頑張っていくつもりである。					
	鮮	魚	長引く自粛要請で従業員の雇用を見直さなければならなくなった。他業種に比べ、持ちこたえた方であるが、限界が来た。市場の入荷量は少ない。						
	燃	料	5月の中旬以降、原油価格が上昇したことにより、元売仕切価格は上昇に転じている。しかし、原油価格を取り巻く環境は依然として上昇・下降を決定づける材料が乏しく、不安定な動向が続いており、末端市場にも5月は仕切り価格は4週平均2円/ℓ上昇しているが、販売数量の減少及び安値価格ヘシフトといった状況になり、経営環境は依然厳しい状況と考える。						
	共	同	店	舗	新型コロナウイルスの関係で、閉店が続出。未収金回収も思うように進まない。全体的に景気悪化。				
	タ	イ	ヤ	販	売	アクティビティの低下により、需要は下がっている。タイヤ業界は1～2年前のアクティビティが影響されるため、コロナ禍で物流が悪くなった業界の影響が出るのがこれからなのかもしれない。			
商店街	横	須	賀	市	5月期も「緊急事態宣言」・「まん延防止等重点措置」が延長となり、次月の6月も含めて先の見えない厳しい状況である。				
	横	浜	市	飲食店では、コロナウイルス対策措置の延長により、厳しい状況が続いている。閉店する店や酒類を出し始めた店もある。					
	相	模	原	市	相模原市も「まん延防止等重点措置」の対象地域となり、飲食店はシャッターを閉じる等、商店街全体で活気がなくなっており、当然、売上も減少してきた。				
	藤	沢	市	まん延防止重点措置の延長により、来客数は昨年比2割ダウン。先の見えない状況が続いている。コロナ禍で人流を抑制する措置は理解できるが、その影響を受ける企業に対して、支援策はスピード感が全く感じられず、弱い。					
	川	崎	市	ゴールデンウィーク前から蔓延防止措置が発令されているが、昨年と違い、人出は多くなっているため、連休明けの感染者数が心配だと思っていたら、やはり全国的に広がってしまっている。商店街の人出は大きく変わりはないが、ワクチンの接種の予約は中々取ることができず、高齢者は大変な思いをしている。早くワクチンが行き渡って欲しいものである。					
サービス業	温	泉	旅	館	・	ホ	テ	ル	5月は、ゴールデンウィーク期間と週末を中心に営業した施設が多かった。昨年は、ほとんどの施設が全期間休業をしていた。一昨年と比較すると5割程度の売上状況。
	医	療	業	コロナ受入病院では、入院患者数（件数）が減少し、給食数が減少しているが、収益面では、コロナ補助金を受け、資金繰り含めて安定している。診療所クリニック、特に小児科、耳鼻咽喉科は患者が戻らず苦戦している。医療機関でのコロナワクチン接種は、副反応時の対応の難しさや待機場所がない等の理由で、受け入れを躊躇する医療機関が多い。					
	フ	ァ	イ	ナ	ン	シ	ャ	ル	ー

	情報サービス業	売上高・収益状況や業界の景況にはばらつきあり。決算が完了し、営業利益は予想通り赤字も経常利益、当期利益は黒字化。営業利益・経常利益・税引前当期利益では減収・減益となったが、助成金のおかげで税引後利益では減収・増益となった。新人教育も集合研修で行えており、周辺でコロナ発生時には在宅オンラインに切り替わる予定。コロナワクチン普及までじっと我慢。(前月と同じ)コロナ感染が第4波となりつつあり、全国的なさらなる経営不振が予想され、やや遅れて当組合、当社への影響が懸念される。政府からの携帯電話料金の値下げ要請に携帯大手が応じており、その結果として携帯大手会社が経営不振となり、そのあおりで当組合・当社を含む携帯電話関連の中小企業の経営悪化が懸念される。売上/収益ともに悪化しているが、対前年比、施策に伴うものであり、景況による影響ではない。1・2年生の若手の受け入れ先がなく、OJTのための受け入れを調整中のため、新人採用には消極的にならざるを得ない。
	建築設計	建設業界では、県より武道館の改修、高校の体育館・柔剣道場の耐震改修が公告された。また、横浜市より、6校の小学校の建替えと増築・市営住宅2件のプロポーザルが公告された。他、保育園や通学路のブロック塀の改修も随時公表されている。
	柔道整復師	感染拡大防止策は当組合員の施術所各院にて継続的に行われている。しかし、やはりワクチン接種が進まないと、感染が広まると思われる方が多く、そのために外出自粛している高齢の方も目立つ。また、そんな状況下であってもこれから開業を行う同業者もあり、来院者減少の中で、顧客の奪い合いは避けられない。
	警備業	イベント業務の売上がゼロ。
建設業	管工事業	業界に係る管工機材の景況から見ても民間需要は下落し、かなり厳しい状況下にある。一方、公共事業での受注状況はコロナ禍の影響もなく、順調である。
	緑化	令和3年度の公共工事の管理業務については昨年同様に発注されるコロナウイルスによる現象は今のところ見られない。
	空調設備工事	今はコロナ影響で工事の遅れと先延ばし等で工事にバラつきがあり、動向がわからない。夏頃から動き始めるところもあるし、秋頃から始めるところもあるので、各社慎重に動いている。仕事の動向もそうだが、材料全体の値上げにより、今後の収益を出していくのが大きな問題となっていく。
	畳工事	当業界はお客様の家の中へ直接入る商売なので、お客様の方でも、新型コロナウイルス感染症の影響をかなり考えていると思う。気候も良くなっているが、これから梅雨に入り、仕事もますます減少になり、厳しい状況になると思うが、早くワクチン接種が順調に進められれば、仕事も出てくると思う。
	建具	ウッドショックという言葉ができるほど、木材の供給が不安定である。外材が特に入ってこないため、値上がりしが必至である。
運輸業	道路貨物	全体的には回復傾向にあるものの、コンテナ不足等の影響もあり、海コン業者は依然として厳しい状況にある。
	道路貨物	産業廃棄物運搬好調。海上コンテナは先月より微増。
	道路貨物	トラック輸送について昨年度は5月より大幅に落ち込んだため、昨年度に比較すると売上・輸送量は増えているが、運賃が下がり、燃料が高くなっているため、収入・利益は7～8割の状況となっている。昨年同時期に大幅増となった生活関連用品も本年度は期待できない状況となっており、全体的な物流として一昨年度比9割程度となっている。トラック運賃の低下については鋼鉄製品など、スポット輸送の値下げが大きく、今だ回復が見られない。帰り荷については、原価割れの輸送も多々見られ、昨年4月に国交省が設定した標準的運賃の5割以下というような料金も聞かれる厳しい状況が続いている。
その他の非製造業	歯科技工	毎年5月は休日が多く、平均月より売上は減少する。前年同月は新型コロナウイルスの影響により、経営は悪化していたが、今月はワクチン接種が徐々に開始され、売上は回復傾向になってきた。現在の医科で見られる入院加療中のリハビリには理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職が関わっているように、歯科の今後を見つめるならば、例えば訪問診療と歯科技工士の法的な在り方や、補テツ技工全般におけるプランニング提案といった分野でより専門的な関りが必要になる。
	不動産	引き続き顧客の減少が続く。(外出を控えるためか?)在庫を減らすための値下げと金融機関によって融資が受けやすくなっているため、取引は僅かながら、増加したように感じる。

行政庁・中央会に対する要望事項

	集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
製造業	その他の製造業	工業中心の複合業種	雇用調整助成金の延長はありがたかったのですが、継続を望む。業種、企業規模を問わず、設備投資を促す施策(補助金等)を講じてほしい。中小飲食店(含レストラン・居酒屋等)への固定費・資金繰りへの支援を手厚くし、倒産・廃業防止に努め、職域接種に向けた取り組みを推進してほしい。
	卸売業	卸 団 地	令和元年9月の台風15号被災復旧が途上の中で、新型コロナウイルスの感染再拡大により、消費意識は委縮していたが、GoTo…等により、若干売上は回復基調にあったが、新型コロナウイルス感染者が爆発的に年末年始に発生し、2021年1月に緊急事態宣言が再発出、2021年3月21日に2回目の緊急事態宣言解除となったが、2021年4月20日にまん延防止等重点措置対象地域となり、結果的に減収基調となった。依然、前年対比売上はマイナスの水準であり、雇用調整助成金、GoTo…等、コロナウイルス対策支援を長期的かつ幅広く継続願いたい。
非製造業	小売業	共 同 店 舗	新型コロナ対策に係る景気の底上げ。
	サービス業	柔 道 整 復 師	国民の安心がワクチン接種である以上、マスクの有効性同様これに逆らうことははばかれる状況になってしまった。そうであるならば、医療類似行為を行う有資格者、接客業者に対するワクチン接種も急務であると思慮する。また、ワクチン接種による副反応及び関連物資による副作用と比接種群のわかりやすい比較を提示してほしい。



























## 中小企業団体景況グラフ(全業種の主要項目)



本調査は、神奈川県中央会が委嘱した情報連絡員の役職員74名による調査結果です、調査対象は、情報連絡員は所属する組合の組合員「全業種」の景況（前年度同月比）です。

## 景況天気図(前年比)

(2021年5月)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全体	-33.8 %	-13.0 %	-1.4 %	-16.2 %	-50.0 %	-35.1 %	-23.8 %	-12.2 %	-45.9 %
									
製造業	-23.8 %	-14.3 %	-9.5 %	-14.3 %	-33.3 %	-33.3 %	-23.8 %	-4.8 %	-33.3 %
									
非製造業	-37.7 %	-12.0 %	1.9 %	-17.0 %	-56.6 %	-35.8 %	%	-15.1 %	-50.9 %
							-		

(回答率 100.0%)

天気図の見方・・・各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を引いた値（KJI）をもとに作成。その基準は次の通りである。ただし、在庫数量はKJI値プラスの時には雨、マイナスの場合には晴れの方に著した。KJIとは、「神奈川県情報連絡印調査指数」の略である。

快晴	晴れ	くもり	雨	雪
				
30以上	10～30未満	10未満～△10	△10未満～△30未満	△30以上

神奈川県中小企業団体中央会

# 4月の中小企業月次景況調査

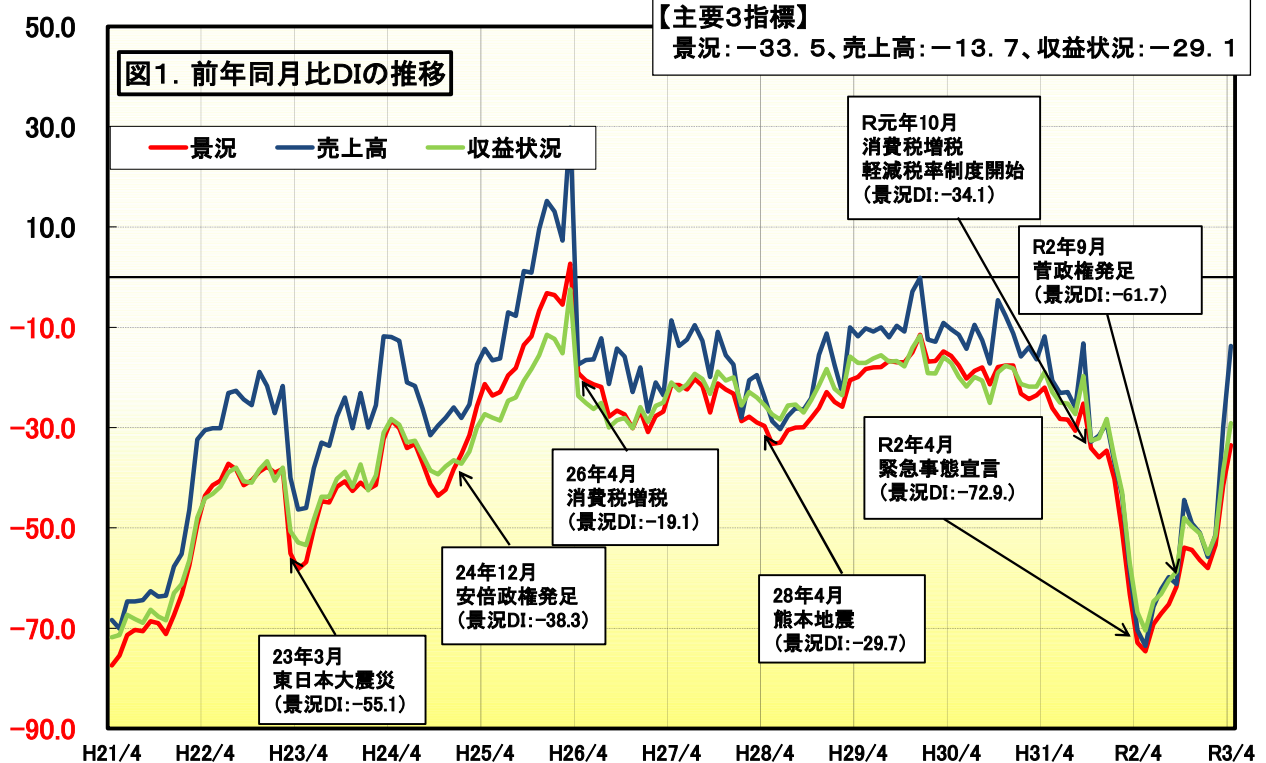
〔令和3年4月末現在〕

全国中小企業団体中央会  
National Federation of Small Business Associations

令和3年5月25日発表

## ◎4月のDI：3ヶ月連続で全指標が改善。

- 海外経済の回復に伴う半導体・電子部品、自動車関連の業種や巣ごもり需要の恩恵を受けている食料品、紙加工品等の業種が牽引し、生産活動や消費活動は好転がみられる。
- 一方で新型コロナウイルスの収束は依然として見えず、収益面や資金繰り面で引き続き悪影響を受けている。
- 新型コロナウイルスの影響を強く受けている業種の企業に加え、原材料・部品の調達不安、一部の地域でのまん延防止等重点措置の適用等もあり、先行きを不安視する声が多く寄せられており、人員削減や廃業を検討する企業も引き続き見られる。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。  
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

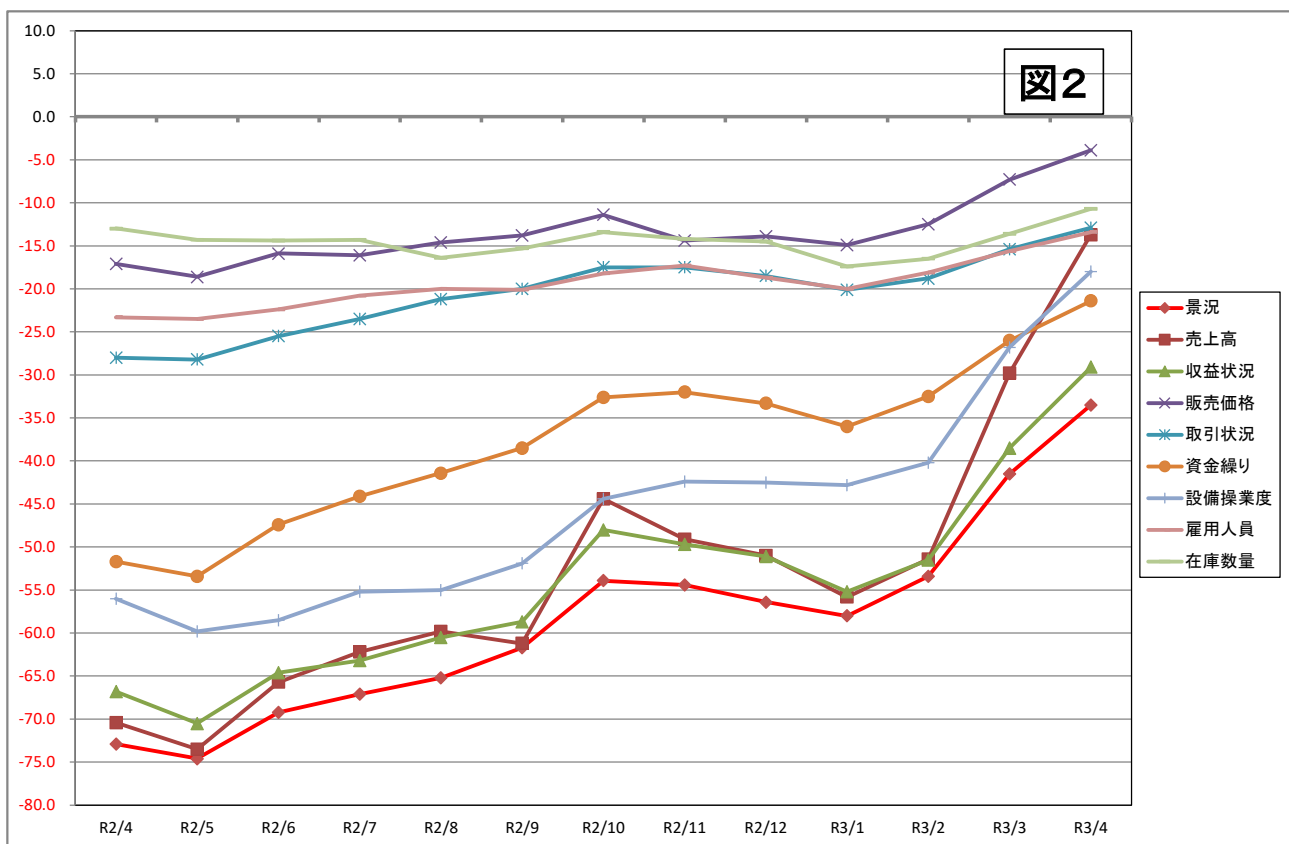
(本発表資料のお問い合わせ先)  
全国中小企業団体中央会  
担当：政策推進部  
TEL 03-3523-4902  
<https://www.chuokai.or.jp>

## 4月の調査結果のD I 概況

### 【指標D Iの動向とポイント】

1. 4月のD Iは、3ヶ月連続で全指標が改善した。主要3指標は、景況8.0ポイント改善、売上高16.1ポイント改善、収益状況9.4ポイント改善となった。
2. 主要3指標以外では、資金繰りや設備操業度が改善はするも引き続き低調に推移している。
3. 緊急事態宣言やまん延防止重点措置の適用の影響もあり、新型コロナウイルス感染の拡大は収束が依然として見えないため、先行きへの対応の不安や見通しが見えないというコメントが多く寄せられている。

### 全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）



	R2	R3												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	前月比
景況	-72.9	-74.6	-69.2	-67.1	-65.2	-61.7	-53.9	-54.4	-56.4	-58.0	-53.4	-41.5	-33.5	8.0
売上高	-70.4	-73.5	-65.7	-62.2	-59.8	-61.2	-44.4	-49.1	-51.0	-55.8	-51.4	-29.8	-13.7	16.1
収益状況	-66.8	-70.5	-64.6	-63.2	-60.5	-58.7	-48.0	-49.7	-51.1	-55.2	-51.5	-38.5	-29.1	9.4
販売価格	-17.1	-18.6	-15.9	-16.1	-14.6	-13.8	-11.4	-14.4	-13.9	-14.9	-12.5	-7.3	-3.9	3.4
取引条件	-28.0	-28.2	-25.5	-23.5	-21.2	-20.0	-17.5	-17.5	-18.5	-20.1	-18.8	-15.4	-12.9	2.5
資金繰り	-51.7	-53.4	-47.4	-44.1	-41.4	-38.5	-32.6	-32.0	-33.3	-36.0	-32.5	-26.0	-21.4	4.6
設備操業度	-56.0	-59.8	-58.5	-55.2	-55.0	-51.9	-44.4	-42.4	-42.5	-42.8	-40.2	-26.8	-18.0	8.8
雇用人員	-23.3	-23.5	-22.4	-20.8	-20.0	-20.1	-18.2	-17.3	-18.7	-20.0	-18.1	-15.6	-13.4	2.2
在庫数量	-13.0	-14.3	-14.4	-14.3	-16.4	-15.3	-13.4	-14.2	-14.5	-17.4	-16.5	-13.6	-10.7	2.9

## 【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 前月に続き景況感の一部改善はあるも、大都市や一部の地域等で緊急事態宣言やまん延防止重点措置が適用されたことで、先行きを不安視する報告が数多く報告された。取引条件悪化の報告は製造業や小売業で引き続き多い。
2. 仕入価格については、米国の内需拡大に起因する輸入木材の価格高騰にかかる報告が各地から多く寄せられた。建設業や製造業において外国人労働者の不足による人手不足の報告も引き続き見られる。
3. 一方で、コロナ禍を契機とした、ニューノーマルや業態変換への取組みに積極的に取り組んでいる報告も増えている。

### 《主な報告内容》

#### ◇コロナ禍における取引条件悪化の影響等

- ・コロナ禍が長引く中ガソリンは減販を余儀なくされており、安値市況が続く一部激戦地では地場中小零細企業の経営は厳しい状況となっている。（北海道／燃料小売業）
- ・食肉の輸入もオーストラリア産牛肉の価格が急騰。アメリカ産牛肉も政府ガードで関税が上がり、高値で仕入が困難になっている。（栃木県／食肉小売業）
- ・輸送料は全般的に回復傾向にあるものの、海コン業者は、依然厳しい状況にある。また、大手が下請けへ競争参入しており、中小運送業者は厳しい価格競争で苦しんでいる。（神奈川県／運輸業）
- ・民間工事において、物件の減少のため、受注競争が激しくなっている。（静岡県／建設業）
- ・大阪の業者を中心に受注のための値下げが目立ってきており、採算が合わず失注するケースが増えている。（和歌山県／家具製造業）
- ・先月に引き続き、県外安売り業者の進出により厳しい経営が続いている。また、カーボンニュートラルの発表を受け、人材の確保の先行きを不安視する組合員もいる。また、地下タンクの40年・50年問題から、廃業の申出が少しずつ出ている。（香川県／石油小売業）
- ・鋼材熔材の値上げにもかかわらず、取引価格がどんどん安くなってきており、適正価格の維持が喫緊の課題である。（鹿児島県／機械金属工業）

#### ◇コロナ禍における、ニューノーマル・業態変換（事業再構築）等の取組み

- ・業界全体でICT・スマート農業の推進に取り組んでおり、春需要を前にWEBでの展示会の開催等を計画する所も見受けられる。（北海道／農業用機械器具小売業）
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、既存の売上高は前年同月より少し減少しているが、新規事業である惣菜の製造販売により、増加傾向にある。（栃木県／給食センター）
- ・コロナ禍でインターネットによる問い合わせからの商談が増加し、成約に繋がっている。卸売は出品車の確保が難しくオークション相場は高値で応札している。（東京都／中古自動車小売業）
- ・大学生が高岡漆器の情報を公式サイトで発信し、特注の機会を得ている。若い世代の情報技術力が業界に新たな需要を生み出している。（富山県／漆器製造業）
- ・GWを控えてテイクアウト用の引き合いが多い。プラスチック容器から紙製容器へとSDGs関連の社会的要請が後押ししているので、今後に期待したい。（愛知県／段ボール製造業）
- ・環境に優しく従業員の健康面からも水性塗料の導入を検討するなど、収益や業務環境の改善に向けた取組みを行う企業も増えている。（滋賀県／自動車整備業）
- ・組合では6月よりクラウドファンディングで広告を開始するためプロジェクトを立ち上げ、準備中である。（沖縄県／食料品製造業）